

大学の世界展開力強化事業（平成24年度選定）事後評価結果

大 学 名	明治大学
整理番号	I-9
事 業 名	日本 ASEAN リテラシーを重視した実務型リーダー育成プログラム

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) A	取組状況、目標の達成状況ともに事業計画を概ね満たしており、事業目的は実現された。
(コメント)	<p> 本事業は、我が国と東南アジアに関するリテラシー及び課題解決能力・関係構築能力・環境適応能力からなる現場力を有し、様々な分野で我が国と ASEAN 諸国とを結びつける実務型リーダーを育成することを目指し実施された事業である。 </p> <p> 事業展開では、相手大学ごとに異なる単位制度、アカデミックカレンダーに対応した短期・長期の交換留学やダブルディグリー・プログラムに加え、タイに本事業で設置した明治大学アセアンセンターによる遠隔授業など、多重交流プログラムを構築した上で ASEAN 7 か国との大規模な交流プログラムを実施し、それぞれ成果を挙げている点は評価できる。学生交流数については、受入でやや目標を下回ったものの、派遣・受入ともに大規模な学生交流を実現させている。 </p> <p> 更に、外国語カスタンダードの基準を上方修正した上で、外部語学試験受験料補助制度の活用など、学生の語学力向上のための環境整備を進めたことにより、外国語力基準を達成した学生数が事業開始当初から大きく増加した点は評価できる。 </p> <p> また、同センターは派遣・受入学生に対する事前学修や生活に必要な情報提供等の支援を通して、ASEAN 諸国の大学と交流プログラムの展開を円滑にすることや、大学間での協議や各種イベントの実施など、ASEAN 諸国の拠点としての活動が認められる。今後は事業全体の成果を分析し事業展開に活用するとともに、積極的な情報公開がなされることに期待する。 </p> <p> 一方で、明治大学とマレーシア工科大学との間ではダブルディグリー・プログラムが実施されているので、他の相手大学とも着実に実施されていくことが望まれる。 </p> <p> 最後に、本事業はタイをはじめ ASEAN 地域の複数の国・大学・学生が関わる大規模なものであり、多彩な人材輩出によって我が国の大学教育のグローバル展開力の発展に繋がっていくことを期待する。 </p>